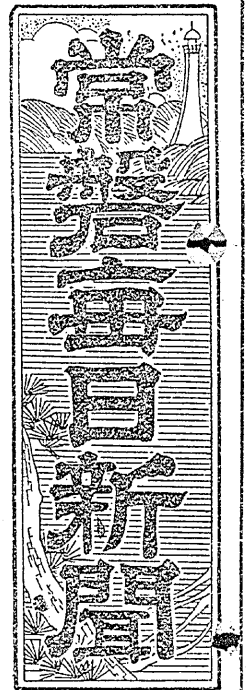


刊夕 日八月貳拾



定価 一冊五銭 月刊五拾銭 郵費五銭  
 廣告料 五銭 十二字 一行 五拾銭  
 日曜 祭日の翌日 休刊  
 発行所 常新日新聞社 平町三丁目  
 電話 六三〇  
 印刷所 常新日新聞社 印刷株式会社

幼児の心理と

その取扱

霜田 静志

書物を引きさく  
 母親は嬰兒の一舉一動に常に注意を拂ひ、それはいけない、これはいけない、としきりに禁止する。そこで嬰兒は母親の行動に最大の注意を拂ふやうになる。だが母親の態度にはどうも呑み込めない点がある。嬰兒が喜んでする事の一つに書物を引き破る事がある。だがこれはやる度にいつも叱られる、いつもいけないと言つては止められてしまふ。そこで本を引き破る事はいけない事だ、といふ事が子供にも分るやうになつて来て居る。

もう此の頃には子供も大きくなつて来て居る。いけないと言はれる事に對しては、何故か知らない、止めなければならぬといふ事は臆氣ながら分つて居る。だが或る日一冊の本を取り上げたが、其處には誰も居なかつた。彼はいつも叱られる事などは思ひ出さず、無意識に書物のページを開いて其の一枚を破つてしまつた。此の時紙の破れる音をきいて、彼は急に前に叱

れた時のことを思ひ出した。そして彼はびつくりして叱られやしないかと小さくなつた。だが誰も叱るもの居ない。いつもはきつとしかられない、今日に限つてしかられない、變なアと思ふ。そしてしかる者が居ないので子供は次の頁を破る。それから面白くなつて

ノート

人造染料  
 は大學教授の助手  
 パーキン十八の時試験管の底に黒色の沈澱物を発見之から最初の人造染料を作る

其の次々と破る。此の時子供は新しい快感を経験する。誰か来てしかりはしないかと思ひ乍らも、誰も来ない中に、其の事を仕終らせてしまふ快感である。

子供は斯うして本をすつかり破つてしまつた。併しそれを爲し終る、もうそれには興味なくなつて、今度は次の事に移つた。だが其の時母親が這入つて来て、メチャメチャにされた書物を見た。子供は母の姿を見ると、愛撫してもらはふとして、甘へるやうに母の方に手を出した。だが母親は破られた書物を見て、眼の色を變へて怒つてしまつた。子供は吃驚して母を

盾撞きに出逢つては、子供が大人を信頼しなくなるのも當然である。以上挙げ来たものは、ホーム・レーンの記述して居る二三の例に過ぎない。だが斯うした事柄は仔細に観察すれば、吾々の身邊にも数限りもなくあるであらう。然も斯うした場合の親の無理解が結局子供の心を歪めてしまふのである。子供が悪くなつたと言つて決して子供を責められない。總ては子供の心理を考へない親の不用意に基のである

是非!

御融通には御利用下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
 平四・電六〇六番

有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名  
 一、固定給の外旅費支給す  
 御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ  
 (明治十四年創立 保險の開祖)

明治生命保險株式會社  
 平 事務所  
 所長 小野 勝 康  
 平・仲町

七五三子供服!!

開店してまだ日の浅い...  
 ハヤシの思ひ切つた大奉仕  
 實質的高級品新型...  
 お祝用 男兒用洋服・オーバー  
 女學生用オーバー 婦人用コート  
 男女通學服並にオーバー  
 豊富取揃て有ります  
 是非當店に御用命の程を...  
 平・三丁目角(マルトモ向)  
 ハヤシ 婦人洋服店  
 子供洋服店

祝 七五三

可愛のお祝靴色々取揃てあります。  
 御用命の程を...  
 六〇.....貳〇〇まで  
 平町四丁目驛通り  
 菊地靴靴店  
 電六五九

専門  
 産科 婦人科  
 花柳病科  
 入院隨意  
 井坂醫院  
 平町田町 電話五五九番

内科  
 川井内科診所  
 川井 安子  
 平町(電話二四三番)

玉屋洋品店  
 平町田町通電話六五六番

# 増産と見て

## 木炭が低落

濱三郡下に於ける今期木炭製産は凶作打開の方途として大増産の傾向を示してゐることは

既報の如くであるが現在同木炭の強力なる市場である東京地方の相場はこの増産を見越して最近急激なる低落を來し就中八月頃一俵一圓五錢であつた標は八十五錢に暴落した、當地方に於ける小賣相場は更に慘落してゐるので

製産業者は製産制限

### 第三區女青

#### 廿一日總會

既報石城郡第三區女子青年團の評議員會は今日午前八時より平第二小學校會議室に開かれたが總會の件を附議した結果來る二十一日午前十時より平館に於て開催する事に決定した

### 賀狀シーズンに入り

#### 端書切手賣上激増

##### 四日間で卅三萬枚賣切れ

既報年賀郵便は早くも平局で大宣傳して居るだけに最近同局の端書と私製端書用の一錢五厘切手は物凄く勢で賣上げられて居る同局で普通一ヶ月に賣上る端書は約卅萬枚、十一月は少々多くて卅二萬枚であつたが本月は去る四日から本日迄に早くも三三萬枚を賣上げ平常の一月振りを四日で賣上げる勢ひからして昨年同期の百九十萬枚を突破して二百萬に達するものと係員は見て居る一方一錢五厘切手は一月平均六萬枚、賣上げは一月に三萬枚を賣上げ

多く利用されて居る

### 全校兒童に

#### 養兔獎勵

錦村小學校では昨年養兔獎勵の爲め千葉試験場から原種を購入繁殖させ全校兒童に分讓飼育せしめたところ

### 二毛作を全廢して

#### 上質米を收穫

##### 郡下に珍らしい三、四等米

###### 鹿島村箱崎寛一さんが

石城地方の農村も冷害に依る産米減收、或は品質値下が各地に起つて居る折柄近年にない上白米を作つて産米検査に出張した平穀物検査所員を驚かした者が有る昨六日同所の丹技手が鹿島村字三澤箱崎寛一さんで本年産米百俵を検査した處等外廿八俵五等五十俵の外

に本年郡下産米には珍らしい四等米が廿俵もあり更に會津上白米壽司米等と同格の三等米が二俵、是の外同家土藏には三等米が二十俵近く貯まれて居るのに驚かされた同技手が原因を調査したが同家では二毛作其他の副業を廢し産米に全力を注いだ結果であると

### 高麗橋を中心として

(31)

#### 眞木翁の懐古事談

平城の大廣間には順逆の別で大論戰

時局は重大、事は一番の存亡にも、各己の浮波にも關する、藩士の大會が城中大廣間に開かれた、父は此間に立ち、大義名分順逆の別等を力説したが、安藤家は徳譜代にて、

老公は老中にも列し、三年の思願の、亦棄つべからざるものありし爲めか、父の主張は、唯父一個の主張とのみに終つて、一般の容るゝ處とならず、更に執政上坂に説いたが、又其斥く處となつて、大濤の覆へる、雙手の支へ得ざる状態に隨つた。

### 維持困難の木炭組合

#### 委員を擧げ加盟勧誘

濱三郡木炭組合は縣管検査實施後未加入業者が續出するため最近同組合の維持困難となつたので之が對策として今回新たに委員三十六名を擧げて

- 一、未加入者の加盟勧誘
- 二、脱退者防止
- 三、組合費賦課金徴收

等に當らしめ組合の擴張を圖ることになつた

九時から平第一、第二兩校グラウンドで開催されるが出校左の如く第一回の此の大會に何れのチームが優勝するか期待される

平第一、同第二、同第三湯本、内郷、神谷、草野

從業員義捐金 勿來町大日本炭礦從業員一同は

### 忘年会

萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します

御通知下されば當方より早速參上如何やうにも御相談に應じます

尚餘興舞臺が出来ました

平町紺屋町

### 住吉屋本店

電話一五九番

既報石城支部主催郡下教員籠球大會は明九日午前

官軍來の噂は、愈々日に高まつた、父の起用が問題になつた、留書に左の如く書いてある

白川出張後、鬱症に御座候而、兎角難儀罷在候處追々時事切迫に相成、五月廿日、中村戊平殿江御書下り有之、私事も軍事掛頭取他方江、連名可仕由御達に付、不才微賤之身として、軍事の大任負難、且白川出張中も、

兎角迷惑に及候儀に付、存寄書を以て、御辭退申上候處、大目附室衛平より、堅白異同の辯を以、御申請、無餘儀席末に連署罷在候、其後次第に、不容易形勢に相成、六月十五日、杉浦三平江附屬仕、平湯出張被仰付候、御書下り御座候間、御席(參政味岡禮賢)江罷出、軍事掛り御免被成下候様達而歎願仕候處、又々室衛平を以て、屢々御説諭御座候得共、兼々決心罷在候儀に付、御請仕候

又々御席江被召寄、軍目付に而役可仕由、被仰付得共、御斷申上候、然者如何被仰付候は、出役可仕哉、御尋に付、周旋方(外藩との交渉掛?)に御座候は、出張可仕由申上、即刻周旋方被仰付候、其中又々仙藩參謀古田山三郎、明早朝湯長谷通り、小名濱一泊に而平湯迄參候に付、嚮導仕夫より平湯へ、出張候様被仰付候

冬來まは庭の仕度よし



### 小作料は負けられぬ 地主が訴訟を提起

二百二十圓の支拂ひ請求

渡邊村大字泉田遠藤一行氏は同村吉成親資を相手取り小作料八石五斗代二百二十圓五十錢の支拂請求訴訟を八日平區才判所に提起した。

同氏は去る六年來自己所有の同村宇所在の田地七反八畝を年小作料八石五斗の契約で親資に契約せしめてゐたが今年は凶作だからと減額を嘆願してきたが拒絶したのに支拂はぬためこの舉に出たものである。

來る十八日午前九時から第一回口頭辯論を行ふ、時節柄各方面から成行注目されてゐる。

### 農産品評

#### 受賞者

平窪、好間聯合

平窪好間二ヶ村聯合農産物品評會は作七日から三日間平窪村小學校で開催されてゐるが出品五百点に上つた郡農會青山技師審査の結果左記入賞、明九日午後一時から褒賞授與式を舉行する。

▲一等大根矢吹平一 白  
菜鈴木貞雄 九大根上岡  
農事實行組合 葱吉田庄  
松 卯立澤和養 梨金成  
雅義(以上平窪) 牛蒡好間  
鈴木清藏 人參同猪狩喜  
惣兵衛 ▲二等(好間) 鈴木

### 丸屋タビ店主が

#### 温い情けの贈物

低學年の哀れな子供に

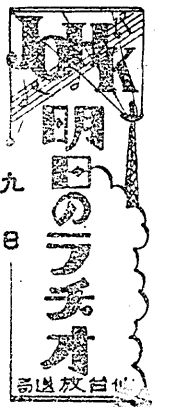
平町一丁目丸屋タビ洋品店主齋藤喜代志氏は今八日平第一小學校に出頭低學年の貧困兒童の爲めにとつてメリヤスシャツ十二着を寄贈した感謝した學校當局は早速貧困兒童に配附して人の情けの温さを感じしめた。

### 共産黨員が兇行

植田署の非常演習

植田署では六日拂曉勿來町大日本炭礦に共産黨員多數入込み資金獲得の爲兇行を演じ死傷者續出し阿鼻叫喚の巷と化してゐるとの想定の下に署員の非常召集を行つたが頗る好成績であつた。

一毛作受賞者 平窪  
好間聯合で今春舉行した二毛作品評會に於ける左記入賞者の褒賞授與式も同日舉行する。



今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話 子守唄お話俱樂部  
伊東薫  
後六、二五 英語講座(六  
六)岡部次郎  
後七、三〇 獨唱と合唱

明日の部  
武岡鶴代  
後八、二〇 義太夫 鶴山  
古跡松竹本叶太夫  
後九、〇〇 時事解説  
後九、三〇 時報 ニュー  
ス 氣象通報 番組豫告

雄太郎 不竹正(二点)  
土田善助 猪狩行雄 大  
谷良助(平窪)岡部直久  
鈴木久次郎 小野弘 永  
井よし 小野久雄 吉田  
恭 金成定藏 ▲三等平窪  
根本辰雄外三十五名 ▲四  
等七十九名

佐々木君人營 平町  
大工町佐々木道典君は來る  
九日午前九時平窪發列車で  
朝鮮會寧工兵十九大隊入營

前七、五二 日米無電話  
開通祝交換放送  
前九、三〇 子供の時間  
管絃樂 日本放送交響樂  
團  
前一〇、〇〇 日曜勤行  
(淺草寺本堂より中繼)  
前一一、〇〇 文藝講座  
東北帝大教授小宮豊  
勉  
前一一、一〇 講演 村田  
勉  
後〇、五〇 滿洲より 滿  
鐵地質調査長木村六郎  
後一、二〇 合唱 第八回  
競演合唱祭入賞

本年廿日から正月六日迄平  
郵便局で取扱ふ年賀電報は  
同局でも最初の試みなので  
近く全市内にポスター、ビ  
あつたが都合に依り來る十  
五日に延期された

年賀電報宣傳 既報

後二、〇〇 清元 清元延  
菊票  
後二、三〇 常磐津 常磐  
津文字美代  
後六、〇〇 子供の時間  
「童謡と唱歌」臺北より  
後七、三〇 謡曲 喜多六  
平太外  
後八、〇〇 小唄 堀小奈  
美外  
後八、一〇 新内 佐賀造  
外  
後八、三〇 俚謡 小勇外  
後八、五〇 映畫劇一母の  
愛」松竹現代劇部總動員

### 平檢事局の送致數

#### 二千件突破か

東北一を凌駕する激増ぶり

逐年増加の傾向を示してゐる平檢事局の受理件數は今年も亦著しく増加し目下の處一千九百七十七件に達つし昨年度一ヶ年中の千八百三十件に比し既に八十七件を増加してゐるが年度末迄には更に二千件を突破すべくが着任する

### マッチを弄んで

#### 全身に大火傷!

内郷村字大平魚商三郎三男佐久間武(五)は昨七日正午頃家人の留守中面白半分マツチを弄んでゐたところ着物に火が燃え移り全身に大火傷を負ひ生命危篤

竣功検査線上 (既報) 九、十日の兩日行ふ豫定であつた農林省佐々木技

### 江名信用で

#### 精米所設置

廻港漁船に 飯米を供給

江名信用組合は同港に出入する漁船に配給する飯米を組合の手で行ふ計劃を建て今回協議の結果、工費二千圓を投じて組合倉庫附近に精米所を設置することになり近く着工する

### 卓球リーグ決勝

平卓球協會の競技研究會は本日午後一時より平第三小學校に開かれたが會後午後二時から協會リーグ戦決勝戦たる平稅務署對内郷村宮俱樂部の試合が行はれた

### 平局法規研究

平郵便局の法規研究會は來る十六日午後一時から同局樓上で開ま





# 明治太平記

(禁無録録)  
上映及上演

(作) 寺島 証史  
(畫) 野口 紅涯

第七回

## ザンギリ頭 (七)

しかし、ふたりとも容貌魁偉に似ず、漢學に達し詩文に長じてゐたので、國境階級の無い文學が、しぜん幕末騒亂のあひだにもふたりを親密にしてしまつたのだ。

『いや、長州、ことに土州の詩文をわきまへぬ豪傑共はきらひぢや』  
大志賀は吐き出すやうにいつた。  
『土州だつてちかごろ詩書をひもとくとよ、話せる人間がある』

『ふん、明治新政府にひろはれ、八字ひげの官員ともならば、猿が冠りをかむつたやうに、詩文も讀まねばならんか。ハッハッハッ』  
『ハ……いつもながら口の悪い、とにかくそこに居つては話にならん、上りたまへ、一別以來、話もずい分たまつとるし、君にみてもらひたい詩もいくつかはある』  
『いや、それどころではない、けふ訪ねて参つたのはおぬしに折入つて頼みたいことがあるのぢや、用はこゝで手短かに話せる』

大志賀は頑として玄關先に突立つたまゝだ。  
『なんぢや、用件とは？』  
『ほかではない刀の無心ぢや、しかも三四人分』  
『ほう……』  
『見らるゝとほり、この丸腰ぢや何もできん。ひとつ



大小の心配をしてくれんかほかにたのみにゆくあてがないのぢや。刀劍商の店先をのぞくこともできぬいまの境涯ではのう……』  
副島は、そのとき用意周到に四邊を見廻して『うむ、では再舉か』  
『いや』

『暴舉は止したがいゝなア』  
『何に、暴舉？ 暴舉だア聞きすてならん』  
大志賀は氣色ばんだ。  
『まあ、怒るな。暴舉といはれて氣色ばむところをみると、事實再舉を企てゝるのぢやな、それをまた官邊の寄合所ともいふべきこの邸へ、わざ／＼洩しにくるとは、ちかごろ……』  
『輕卒と吐かしたな』  
『輕卒といふよりか、その氣構へはもう古いぞ』  
『何に……』  
『待て、怒るまへに、とく

是の案目に頭を捻つてから幾年になるとおもふ。その大方針の案文が、由利の懐の鼻紙で認められたとは到底信じられぬほど、まがりなりにも明治新政府の外観内容が出来上つた。のう、これは決して岩倉や、木戸の力ではなくて、時の勢ひなのぢや。その時勢に反抗して事を構へようとしても成功はせん』  
『いや、成、不成は眼中にないのぢや』  
『では、單なる自棄か』  
『いや』  
『私憤か』  
『それもある』  
『うむ……』

店主	か	を	店
運	れ	運	主
行	る	れ	か
食	イ	て	店
堂	イ	行	員
茶	イ		
酒	酒		
場	場		

平・田町  
ラレストサロン  
電話二五三番

木村外科醫院  
平町六丁目橋際  
電話三〇九番

中野齒科醫院  
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次  
日本齒科 醫學士 西川 誠  
平町田町(松月堂向と)  
電話五〇九番

越前 節 是 非 會 館

獨特を奉仕献立

紅茶 一〇  
一品料理 二〇  
ランチ 五〇

御宴・御集會・御相談次第

平町五丁目 平會館

産人科 院長 木村寅次郎  
婦人科 醫學博士 内木宗八  
外科 藥劑師 立番彌一  
平町新川町十九  
木村病院  
電話六四番

体温計の検査日です  
10日 検新  
機設 お宅の体温計は？  
◎正確な体温計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日御利用下さい  
度量衡 指定販賣人 西村屋藥局  
計量器 平・二電三番

耳鼻咽喉科専門  
平町(電話六九一番)  
山内醫院  
醫學士 山内 亨吉  
病院完備 自炊便有

御土産には是非！  
仙の干やなぎ  
鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛を……  
★鯛の子入荷致しました★  
平町 土橋  
鈴藏魚店  
電話六六一番